

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	器質性構音障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次		学期及び曜時限	後期 金曜1限 他	教室名	405教室
担 当 教 員	糸賀 亜美 他	実務経験とその関連資格	糸賀:医療福祉センターに勤務し、小児への言語聴覚療法の実務経験がある。			

《授業科目における学習内容》

器質性構音障害の解剖学、種類とその障害について専門的な知識を習得する。また、手術法、検査法、および治療・訓練についての知識と技術を習得する。出生時から成人までの治療の流れやチームアプローチについても学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100点)で評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

【教科書】「言語聴覚療法 シリーズ8 器質性構音障害」建帛社

《授業外における学習方法》

講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。

《履修に当たっての留意点》

器質性構音障害については主に口唇・口蓋裂と舌癌を重点的に学ぶ。積極的な取り組みを望む。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	器質性構音障害の定義と疾患について理解でき、説明できる。	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
	各コマにおける授業予定	器質性構音障害の定義と疾患		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	口唇口蓋裂の発生、疫学、口唇口蓋裂の分類について理解でき、説明できる。	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂の発生、疫学、口唇口蓋裂の分類		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	口唇口蓋裂の手術について理解でき、説明できる。	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂の手術		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	鼻咽腔閉鎖機能と評価について理解でき、説明できる。	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	各コマにおける授業予定	鼻咽腔閉鎖機能と評価		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	口蓋裂言語検査について理解でき、実践できる。	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	各コマにおける授業予定	口蓋裂言語検査		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂の言語治療について理解でき、説明できる。 口唇口蓋裂の言語治療①	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂の言語治療について理解でき、説明できる。 口唇口蓋裂の言語治療②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂の言語治療について理解でき、説明できる。 口唇口蓋裂の言語治療③	教科書プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	頭頸部がんによる器質的構音障害について理解し、説明できる。 口腔がんの特性と治療		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	頭頸部がんによる器質的構音障害について理解し、説明できる。 口腔がんの特性と治療	教科書、配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	頭頸部の主要な筋肉について述べることができる 口腔がんの特性と治療		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	再建腫手術の方式について述べることができる 口腔がんのリハビリテーション	教科書、配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口腔がんのリハビリテーションについて述べることができる 口腔がんのリハビリテーション		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口腔がんのリハビリテーションについて述べることができる 口腔がんのリハビリテーション	教科書、配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施
	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口腔がんのリハビリテーションについて述べることができる 口腔がんのリハビリテーション		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	口腔がんのリハビリテーションについて述べることができる 口腔がんのリハビリテーション	教科書、配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリントの実施